

〈 格付「A+」に引き上げ 〉

当組合は、令和5年5月に格付機関である株式会社日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付を継続取得し、この度「A」(シングルAフラット)から1つ上の「A+」(シングルAプラス)に引き上げとなりました。

1 格付機関 株式会社日本格付研究所(JCR)

2 格付対象 長期発行体格付

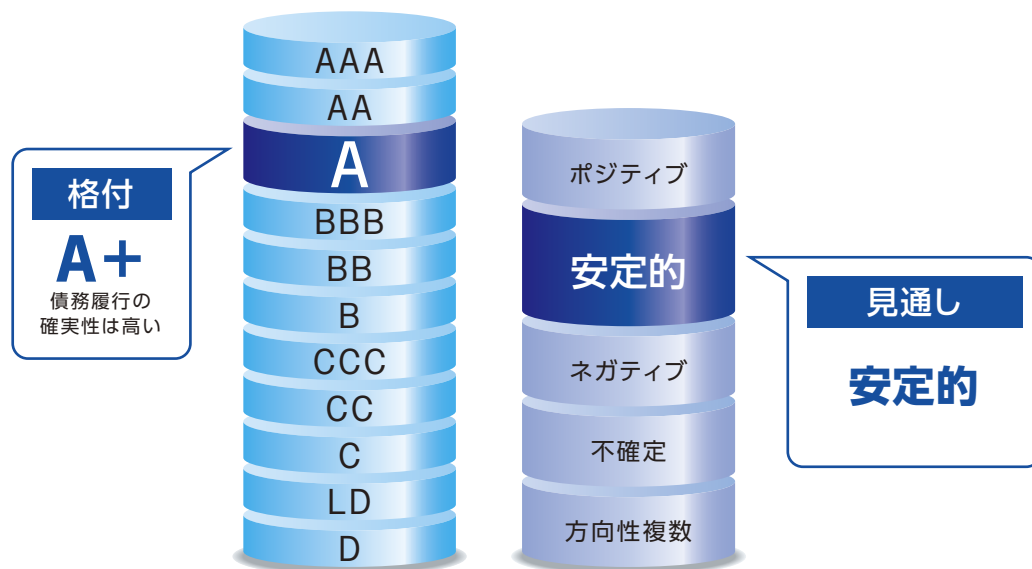
※長期発行体格付とは、債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

3 格付 A+(シングルAプラス) 見通し「安定的」

※A(シングルA)は、株式会社日本格付研究所の11段階の格付等級の上から3番目にあたります。
※格付の見通しは、長期発行体格付が1~2年の間にどの方向に動き得るかを5つに区分して示すものです。

4 取得の目的

外部からの客観的な評価である格付を取得し、お客さまや組合員の皆さまにディスクロージングすることで、透明性をもった経営を進め、財務内容の健全性をより理解していただき、信頼性を高めることを目的としています。



参考: JCR長期発行体格付の定義

- | | |
|---|---|
| AAA 債務履行の確実性が最も高い。 | CCC 現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。 |
| AA 債務履行の確実性は非常に高い。 | CC 債務不履行に陥る危険性が高い。 |
| A 債務履行の確実性は高い。 | C 債務不履行に陥る危険性が極めて高い。 |
| BBB 債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来、債務履行の確実性が低下する可能性がある。 | LD 一部の債務について約定どおりの債務履行を行っていないが、その他の債務については約定どおりの債務履行を行っているとしてJCRが判断している。 |
| BB 債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。 | D 実質的にすべての金融債務が債務不履行に陥っているとJCRが判断している。 |
| B 債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。 | |

※AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、+(プラス)もしくは-(マイナス)の符号による区分があります。